

# 「おかねや金融のこと知っちゃう？」 私達の活動

## 高知県金融広報委員会

電話 〇八八八二二一〇二一四

高知県金融広報委員会(事務局・日本銀行高知支店)では、「金融経済情報の提供」および「金融経済学習の支援」を活動の柱に、「保険や年金のことがよう分からん」「子どもに健全な金銭感覚を身につけさせたいけど、どうしたらえいろう」などといった県民の皆様の声にお役に立てるよう、くらしに身近な金融に関する幅広い広報活動や学習支援を行っています。

一般の方を対象としたイベントの一環として、本年度は、新たに日本銀行高知支店で「消費者講座・日銀見学会」開催を計画し、六月に第一回目を実施しました。当日は、大学生から高齢者まで幅広い年齢層の方にこ

参加いただきましたが、特に「高知県経済の現状」に関する講話には熱心に耳を傾ける方が多く、「高知県経済の実態を知ることにより、自分たちの置かれている現状が良く分かった」などの感想も多数いただきました。私もものこうした活動により、皆様



# 「金融教育」の確立に挑む!

## 福岡県金融広報委員会

電話 〇九二二七二五・五五一八

福岡県は、自己破産の対県民人口比率が全国で三番目に多い(一位・高知、二位・長崎)県であることから、「金融教育」の必要

性の認識が強く、当委員会では、県、財務支局、各地教育委員会、日本銀行福岡支店等のサポートを受け、幅広い活動を展開して



います。昨年行われた「金融と経済の明日」第四回高校生小論文コンクール(金融広報中央委員会主催)では、福岡県内の高校生が数多く応募し、全国で五名の特選者のうち三名が福岡県から選出されるなど、少しずつ成果がみられています。

最近では、七月三十日に日本銀行福岡支店において

また、学校における「金融教育」を支援するため、現在、県内五つの小中学校を「金銭教育研究校」に委嘱し、「ものやお金の大切さ」、「勤労を尊ぶ考え方」などを身につけてもらうための活動をサポートしています。本年度は、この中の小学校が金融学習グループとタイアップして、「お手伝いとお小遣い」をテーマとした交流会を行いました。当委員会からは、事務局員が出向いて会をリードするとともに、「楽しく学ぼう、お金のイロイロ!」をテーマとした「出前講座」も実施しました。交流会では、児童からグループの方々に、小学生時代に使っていたお金やお小遣いの使い道などについて活発な質問が寄せられたほか、出前講座についても「お金について多くのことを学べて大変参考になった」との感想をいただきました。なお、交流会の様子は、地域のケーブルテレビで放映され、学校や当委員会の取り組みを地域の方々に知っていただくよい機

県教育委員会の幹部の方や中学・高校生の教師七十名を集め、「消費者教育セミナー」を開催しました。各種消費者トラブルの対応窓口を担う県生活文化課の方から、生徒たちにも身近なインターネット、携帯サイトを使った振り込め詐欺や為替先物取引を利用した悪質な金融取引の事例などが示されました。日本銀行福岡支店の山下朗裕支店長から「九州経済とわたしたちのくらし」、前女子栄養大学栄養学教授の桜井純子先生から「金融に関する消費者教育の授業への取入り方」と題した講演が行われました。

そのほか、金融教育の実践事例として、筑紫野市立筑紫野中学校、福岡県立折尾高校での取り組み事例が紹介されました。総合的な学習の時間に止まらず、社会、国語、数学、英語など多くの教科の中で意欲的な取り組みが進められました。「数学の授業で電卓を使い、単利と複利の計算

会となりました。

さらに、当委員会では研究校以外の学校に対しても、金融広報アドバイザーを派遣し、総合的な学習の時間や参観日・保護者会などで学習会のお手伝いをしたり、日本銀行の職員が直接お伺いする「出前講座」も随時実施しています。

このような活動を多くの皆様方に知っていただくため、本年度は当委員会紹介パンフレットを刷新し、県内の学校や各市町村、委員団体などに配付しました。私どもでは、これからも少しでも多くの皆様のお役に立てるような活動を行っていきたくと考えています。

### \*文中の「土佐弁」解説

- ・知っちゃう? → ご存知ですか?
- ・どうしたらえいろう → どのようにしたらよいだろう



結果の相違を通じ、多重債務者への影響を体感させたほか、「株式の投資シミュレーションを通じて投資した会社の業績や各種指標の変化と株価の変動をモニターングさせた」といった内容が紹介されました。説明を担当した先生からは、「ROE、PBR等の指標の動き、チャート、ローソク足にみる統計的な相場観」といった専門的な用語も飛び出しました。これらの学校では、こうした取り組みを通じ金融・経済に関する生きた知識の習得に止まらず、お金の大切さ、生活設計の重要性を学んだようです。また、PTAの方々にも刺激を与え、継続的な取り組みを求められているようです。

今回のセミナーに参加した先生たちがまた新たな金融教育を実践し、その輪を広げてくれることと思います。福岡県金融広報委員会は、学校の先生方と共に、金融教育の確立を目指してがんばっています。

私は、金融広報アドバイザーと併せて消費生活相談員として、長年消費者相談に当たってきました。近年、ITの発達と携帯電話の普及はくらしを便利にしましたが、反面、子どもも高齢者も年齢に関わらずトラブルに遭う危険にさらされ、相談は激増しています。

## 中学生は小さな消費者

長崎県 金融広報アドバイザー  
井手 瑛智子



がり始めているのを感じています。七月上旬、県央地区の中学校三年生百五十三名を対象に家庭科の授業で、消費者教育を担当する機会がありました。事前アンケートを実施したところ、「友人にものをやる」「友人から物を借りる」「親から小遣いをもらう」といったことを契約とは思っていない生徒の割合が非常に多いことが判明しました。

契約とは何か、から自己責任とその解決方法までを五十分間の授業で伝えざる難しさを感じましたが、自分の問題として受け止める生徒の反応は確かなものでした。授業後のアンケートを見ると、「事例が身近な携帯電話だったので契約への理解が深まり、トラブルに遭遇しても泣き寝入りはしないという自信へつながった」「携帯電話に対する認識が変わった」などと具体的な感想が書かれていました。

これからは先生方やPTAとの連携を続けていけば、子どもたちが小さな消費者として立派に自立するための力を付けていく大きな契機になると、夢のふくらむ一日でした。金融の基本を子どもたちに伝えるため、今後も分かりやすい講座を行えるよう工夫していきたいと思っています。

## 金融広報アドバイザー紹介

### 楽しく学ぶ

福島県 金融広報アドバイザー  
田崎 由子



十一年目を迎えますが、講師依頼があったときには事前に訪ねるようになっています。それができないときには電話で必ず何うかがいあります。聞く方の年代、地域の特徴、グループの内容やこれまで活動してきたこと、そしてどんなことを特に知りたいのか、などです。伺ったことを参考に、同じテーマでも資料をそのつど工夫し、分かりやすい内容にと心がけてきました。クイズ、チェックシート、ビデオ、ロールプレイングそして自分の体験などを取り入れながら、どうしたら分かりやすくできるだろうか、と常に考えています。

私たちは一人では続かないことも、二人三人なら互いに励まし合ったり、誉め合ったりしながら継続することができますね。また、知りたいことや基本的なことをみんな楽しく学ぶのが大切であり、そのお手伝いをするのが金融広報アドバイザーの役割の一つと考えています。私は金融広報アドバイザーとして

最近では「消費者教育出前講座」で学校を訪ねることも多くなりました。入学式や授業で最初に生徒さんたちに話をするのは、携帯電話やカードについてです。みなさん大変興味を持っていていますが、便利であると同時にトラブルも多くなっているため、相談窓口をその場で携帯電話に登録してもらいます(事前に学校の許可を得ておきます)。また、ロールプレイングは楽しく参加できるので、授業にはできるだけ取り入れたいですが、思った以上に好評です。「みんな楽しく基本を学ぶ」をモットーに、これからも一緒にがんばっていきましよう。

## 読者の皆さまからお送りいただいたおたよりをご紹介します。

●金融広報中央委員会という名前からはじめは固い感じのイメージを持っていましたが、内容を読むと、そうではなく、気軽に手軽に拝読できています。単に金融というテーマのみならず幅広い内容の提供はウエルカムですね。バランス感覚の取れた広報誌だと思います。今後にも期待です。

(北海道・さつげんちゃん) ●この冊子は、文面も優しい感じがして、好感が持てます。巻頭特集の「挑戦するって楽しい」を読んで、私より上の世代の人が生き生きとしていることが分かり、私も勇気づけられました。

(東京都・町田さん) ●「巻頭特集」がよかったです。私は50代ですが、何かあると自分への安易な言い訳と「もう年だから」と思ったり、言ったり…。勇気づけられる人たちの紹介、うれしく思いました。「家計の見直し4つのポイント」「そこが知りたい!くらしの金融知識」では、事例もいろいろありますが、自分でシミュレーション

できる数式の紹介があれば、なお良かったです。

(大阪府・奥田さん) ●「巻頭特集」を楽しく読みました。私も老化の速度に負けたくない新しいことに挑戦したい。

(香川県・六車さん) ●「巻頭特集」に出てくる挑戦者たちも含めて、どうやって資金を集めているとか、節約しているとか、そういう情報も知りたいです。

(福岡県・まーさん) ●活字が大きく読みやすいです。「次号も続けて読みたい」と思うような連載記事を増やしてほしいと思います。

(岐阜県・岩田さん) ●楽しく読んで、知識も増えました。ありがとうございます。

## おたより募集します

### 知るぽるとクイズ

金融商品を選ぶ際に、大切な3つの基準があります。その基準として適切ではないものを、次の中から1つ選んで教えてください。

#### 答えの選択肢

- ①流動性
- ②収益性
- ③汎用性
- ④安全性

(解答は次号に掲載)

『くらし塾 きんゆう塾』では、皆さまからのおたよりを募集します。次の事項をご記入の上、クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。平成19年11月30日までにご意見を下さった方の中から、抽選で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。

また、いただいたおたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「図書カード」をプレゼントいたします。

#### ◆記入していただきたいこと

1. 今号で面白かった記事
2. 今号で「もう工夫欲しい」と思った記事
3. 今後取り上げて欲しいテーマ
4. 一言ご感想
5. 知るぽるとクイズの答(左記参照)
6. ご住所・お名前・電話番号
7. 「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

#### ◆宛先

- ・郵送 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1日本銀行情報サービス局内 金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛
- ・メール info@saveinfo.or.jp
- ・FAX 03-3510-1373 金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛



それは50年前の日々の暮らしに向けたメッセージでした。

たわわに実った稲穂を抱え、右手には「ちよきん」と書かれた貯金箱。このユニークなポスターは、金融広報中央委員会の前身である貯蓄増強中央委員会が発足して5年後の昭和32年に掲示されたものです。

この年、貯蓄増強中央委員会では、それまでの国の自律促進に向けた貯蓄運動から、国民ひとりひとりの暮らしに向けた貯蓄運動の促進に力を入れはじめました。

「お金や物を大切に」というメッセージは、今の日々の暮らしにも通じています。

## 金融広報 だより

### 金融教育ってどんなもの？

学校では、実際にどんな「金融教育」の授業をしているのでしょうか。

今年度も、全国各地で、金融教育の公開授業を開催します。金融教育の専門家による講演もあり、地域の方も聴講できます。開催に関する詳細情報は、ホームページ (<http://www.shinporuto.jp/>) に随時掲載いたします。参観をご希望の方は、開催地の道府県金融広報委員会へ照会ください。



公開授業「お金って大切!～買い物ゲームで学ぼう～」の様

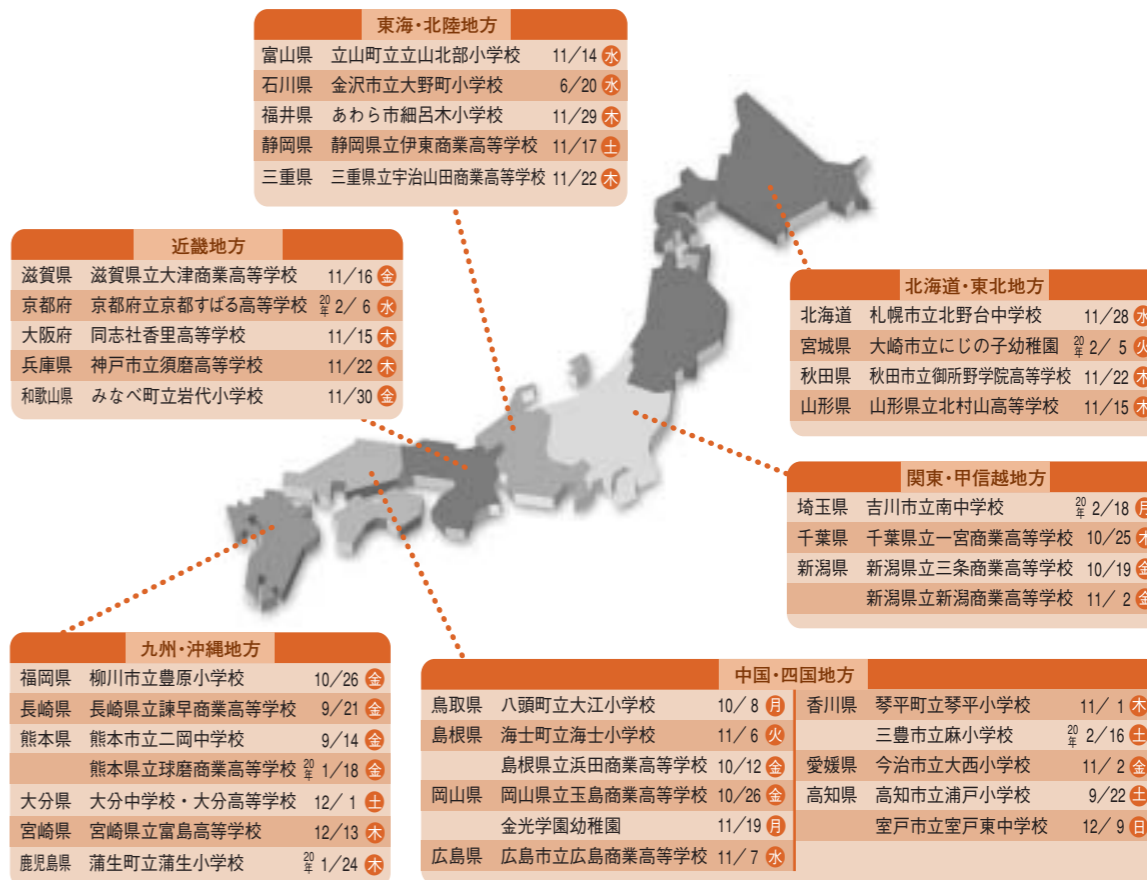
参加された皆様のご感想(アンケートより)

- ・子どものためになるお金の使い方を教えてあげられるよう、我が家なりにしっかり考えていこうと思いました。
- ・お金のことを子どもが真剣に考えている様子が見られました。



開催時期：平成19年6月～平成20年2月

開催地：全国36の幼稚園・小学校・中学校・高等学校



### くらし塾 きんゆう塾 Vol.2

平成19年10月発行  
 編集・発行 金融広報中央委員会  
 編集協力・印刷 廣済堂  
 ©金融広報中央委員会 禁無断転載

【編集後記】ようやく涼しくなってきましたが、この第2号の編集には猛暑日続き。少しでも良い広報誌にしようと、原稿に囲まれ汗をかいた日々でした。そのような中で、読者の皆様からいただいたお葉書が、何度励みになったことでしょうか。おかげさまで、第2号も皆様にお届けすることができました。

本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承下さい。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で知るぽるとホームページ上に掲載していますのでご利用ください。(http://www.shinporuto.jp/about/kurashijuku/index.html)